

## 第2章

### 昭和町の将来像

---



# 第2章 昭和町の将来像

## 1 将来像とまちづくりの目標

「昭和町第6次総合計画」における「まちづくりの目標」に即しつつ、本町の現況特性やまちづくりに向けた課題を踏まえ、まちづくり住民ワークショップやアンケート調査等での住民意向を参考に、本町の将来像とまちづくりの目標を次のように設定します。

### ■ 昭和町のまちづくりの目標

※「昭和町第6次総合計画」(平成28年3月)におけるまちづくりの目標

**未来への魅力あふれる昭和町**  
～暮らしやすさ一番を目指して～

### ■ 昭和町の将来像

## 活力と魅力を育む交流都市

本町は、都市的環境と豊かな水に恵まれた田園環境のバランスのとれたコンパクトなまち、居住環境の整った利便性の高いまちとして発展を遂げてきました。

現在のまちの姿は、多様なまちの資産を活かしながら、先人たちが築きあげてきた財産です。

この町土を町民共有の資産として大切に育み、次世代に継承することは、今を生きる私たちの責務であると考えます。

持続的なまちの発展と真の豊かさを求めて、住み続けたいまち、訪れたいまちとしての「人の交流」と、産業や資源、文化などが行き交う「モノの交流」、そして、多様な活動が連携し合う「コトの交流」を結びつけ、まちの新たな活力と魅力を育む交流都市を目指します。

### ■ まちづくりの目標

#### ■ 人が集まる活力あるまちづくり

都市基盤整備、産業振興、利便性の高い道路交通網の充実、あらゆる地域ポテンシャルを活かし、多くの人が集い、交流しながら、持続的発展を続ける活力あるまちづくりを目指します。

#### ■ 安心して心豊かに暮らせるまちづくり

地域バランスと調和のとれた市街地の形成、暮らしやすさを重視した総合的な生活環境の向上に努めるとともに、真の豊かさを追求し、安心して快適に住み続けられるまちづくりを目指します。

#### ■ 固有の自然や文化を受け継ぐまちづくり

恵まれた水資源やホテルの生息環境、農地の田園景観、暮らしに身近な緑、文化や地域の祭りなど、固有の自然環境や文化を継承し、新たな文化を創造する、魅力あるまちづくりを目指します。

#### ■ 交流を育む協働のまちづくり

永い時間をかけて育まれた地域のつながりを大切に継承し、世代間の交流や新旧住民の交流を育み、まち全体の一体感や絆を培っていく協働によるまちづくりを目指します。

## 2 将来都市構造

### (1) 将来都市構造の方針

本町の将来都市構造は、次のような考え方に基づいて設定します。

#### ■ 基本的な考え方

#### コンパクトで一体感のある集約型の都市構造を目指します

本町は、町域を幾筋もの河川が南北に縦断する扇状地上の平坦な地形を土台に、都市化の進む北部・東部・西部地域、田園集落が広がる中央地域とコンパクトでわかりやすい構造となっています。

「昭和町第6次総合計画」では、土地利用方針の都市構造に関連して、「コンパクトで利便性の高い都市構造」、「都市機能補完地区の形成」、「広域的な道路ネットワークの形成」、「緑の拠点の拡大、水と緑の軸の保全」、「市街化調整区域の計画的な市街地誘導」などを掲げています。

また、本都市計画マスタープランの都市構造からみた課題では、「リニア中央新幹線山梨県駅の整備を見据えた都市づくり」を整理しました。

本町の将来都市構造は、永い営みの中で培われた地域構造を継承することを基本に、豊かな水辺や身近な自然環境と、快適な暮らしを支える都市空間が調和し、都市機能が周辺都市も含めて有機的にネットワークされた、コンパクトで一体感のある集約型の都市構造の形成を目指します。

#### ■ 将来都市構造の形成方針

##### 【拠点】

##### まちの魅力を育み、活力と個性を高める多彩な拠点づくりを進めます

生活サービス機能の強化と地域特性を活かした身近な交流機能を担う地域生活拠点の形成、自然や緑に親しみ町民や来訪者の憩い・レクリエーション活動の場となる緑の拠点、本町固有の歴史文化や景観資源の保全・活用による交流・活性化を担うふるさと交流拠点、持続的に発展する本町の活性化を誘導する新たな交流活性化拠点など、多彩な拠点の機能強化と育成を図ります。

また、多様な地域資源を活かし、拠点それぞれが単独ではなく、相互に連携し魅力を高めあう多核ネットワーク型都市構造の構築を図り、昭和町らしい魅力を育み、まちの活力と個性を高めていきます。

##### 【骨格道路網と主要な交流軸】

##### 周辺都市や地域間の連携を支える骨格道路網の機能強化と、各拠点を結ぶ交流軸を形成します

中部横断自動車道や新山梨環状道路へのアクセス強化、リニア中央新幹線山梨県駅の開業を見据えた広域交通体系の確立など、周辺都市や地域間を結ぶ骨格道路網の機能充実を図り、まちの活力向上と地域の連携・交流を強化します。

そのため、広域都市軸や地域連携軸とともに、市街地の賑わいと町民・来訪者の交流を促し活性化の推進を担う賑わい交流軸や、自然や親水空間、緑、景観の軸となる水と緑の軸など、各拠点を有機的に結び、町民の暮らしの向上と交流を育む骨格的な交流軸を形成します。

##### 【土地利用エリア】

##### 地域特性に応じたバランスのとれた土地利用の形成を目指します

本町の地形や土地利用、生活圏域の特性から、コンパクトに集約化した市街地を形成する市街地エリアと、田園環境と共生した良好な居住環境の誘導を図る田園居住エリア、また、良好な農業環境の維持・保全を図る田園環境エリアの3つのエリアに区分し、地域特性に応じたバランスのとれた土地利用を推進します。

## (2) 将来都市構造の設定

将来都市構造の考え方や形成方針に基づき、本町の将来都市構造を次のように設定します。

### ■ 将来都市構造の設定

拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>地域生活拠点</b> ～生活サービス機能の強化と地域特性を活かした身近な交流機能を担う拠点～             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の公民館や公会堂周辺</li> </ul> </li> <li>■ <b>行政文化拠点</b> ～行政機能が集約し、町民の文化活動や交流活動を高めるまちの拠点～             <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和町役場周辺（総合会館、地域交流センター、町立図書館、総合体育館周辺など）</li> </ul> </li> <li>■ <b>産業拠点</b> ～産業基盤整備の推進による地域振興を担う拠点～             <ul style="list-style-type: none"> <li>・釜無工業団地周辺、国母工業団地周辺</li> </ul> </li> <li>■ <b>緑の拠点</b> ～自然や緑に親しみ、町民や来訪者などの憩い・レクリエーション活動の場となる都市公園～             <ul style="list-style-type: none"> <li>・西条・彩の広場、阿原1号公園、押原公園、国母公園、常永ゆめ広場、（仮称）西条二区公園、（仮称）西条公園、（仮称）東花輪川河川公園周辺</li> </ul> </li> <li>■ <b>ふるさと交流拠点</b> ～本町固有の歴史文化や景観資源の保全・活用による交流・活性化に資する拠点～             <ul style="list-style-type: none"> <li>・風土伝承館杉浦醫院周辺、霞堤周辺、東花輪川（山伏川）の桜並木周辺、義清神社周辺</li> </ul> </li> <li>■ <b>新たな交流活性化拠点</b> ～産業集積や都市機能の強化等により交流活性化を誘導する新たな拠点～             <ul style="list-style-type: none"> <li>・甲府昭和IC周辺、常永地区周辺</li> </ul> </li> </ul>
主要な交流軸	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>広域都市軸</b> ～広域的な都市間の連携を担い、本町の発展を牽引する都市活動の骨格となる軸～             <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道20号（甲府バイパス）、（主）甲府南アルプス線（アルプス通り）、（主）甲府市川三郷線（昭和バイパス）、（主）甲斐中央線、（都）大手二丁目浅原橋線、（都）相生一丁目飯喰線</li> </ul> </li> <li>■ <b>賑わい交流軸</b> ～市街地の賑わいと交流を促し、活性化の推進を担う骨格軸～             <ul style="list-style-type: none"> <li>・（都）西条・昭和インター線、（主）甲斐中央線、（都）常永小学校南北線</li> </ul> </li> <li>■ <b>地域連携軸</b> ～地域間の交流・連携を担う骨格軸～             <ul style="list-style-type: none"> <li>・（主）甲府市川三郷線、（都）昭和玉穂中央通り線、（都）玉穂中央通り線、（都）押越西条新田線、（都）昭和玉穂線</li> </ul> </li> <li>■ <b>水と緑の軸</b> ～自然骨格や親水空間、緑、景観などの都市のうるおい空間軸～             <ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌田川、渋川、東花輪川（山伏川）、常永川</li> </ul> </li> </ul>
骨格道路網	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>高規格道路</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央自動車道、新山梨環状道路（南部区間）</li> </ul> </li> <li>■ <b>広域幹線道路</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道20号（甲府バイパス）、（主）甲府南アルプス線（アルプス通り）、（主）甲斐中央線、（都）大手二丁目浅原橋線</li> </ul> </li> <li>■ <b>主要幹線道路</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（都）昭和玉穂線、（都）西条・昭和インター線、（主）甲府市川三郷線（昭和バイパス）、（都）相生一丁目飯喰線、（都）押越西条新田線、（都）昭和玉穂中央通り線、（都）玉穂中央通り線、（主）甲斐中央線、（都）常永小学校南北線</li> </ul> </li> <li>■ <b>地域幹線道路</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（主）甲府市川三郷線、（都）常永小学校東西線、（都）中小河原築地新居線、（仮称）常永駅前通り線、（仮称）国母駅神屋線、町道30号線など</li> </ul> </li> <li>■ <b>主要交通拠点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR身延線の国母駅、常永駅</li> </ul> </li> </ul>
土地利用エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>市街地エリア</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンパクトに集約化した計画的な市街地を形成する北部・東部・西部地域の既成市街地</li> </ul> </li> <li>■ <b>田園居住エリア</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田園環境と共生・調和した、良好な集落地の形成を図る市街化調整区域</li> </ul> </li> <li>■ <b>田園環境保全エリア</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町の良好な農業環境の維持・保全を図る一団の優良農地</li> </ul> </li> </ul>

■昭和町の将来都市構造



